

市議会だより



地方自治法一部改正についての議員研修のようす

講師の秋山氏

9月定例会

平成17年度一般会計決算	P 2
一般質問	P 3～
請願・陳情、議決・意見書	P 12
委員会報告	P 13～

平成17年度一般会計決算

歳入 総額82億329万円 歳出 総額78億7,990万円

(※平成17年10月1日からの決算です。)

9月定例会は、9月5日から22日まで18日間の会期で開かれ、平成17年度一般会計の決算をはじめ、議案26件が提出されました。

決算案については特別委員会等に審査を付託し、最終日の本会議において委員長報告があり認定しました。

このほか、教育委員会委員の任命、条例の一部改正、一般会計補正予算、特別会計補正予算等の議案について、いずれも原案のとおり同意、可決しました。

また、議会の推薦する農業委員も決まりました。

決算の概要は、次の表のとおりです。

平成17年度一般会計・特別会計歳入歳出決算

(単位：千円)

会 計 別		歳入合計	歳出合計	歳入歳出 差引額	繰越明許費 繰越額	実質収支額
一 般 会 計		8,203,291	7,879,910	323,381	26,456	296,925
特 別 会 計	国民健康保険事業 特別会計事業勘定	1,865,425	1,458,319	407,106	0	407,106
	国民健康保険事業 特別会計施設勘定	200,162	182,915	17,247	0	17,247
	老人保健特別会計	1,761,156	1,786,784	△ 25,628	0	△ 25,628
	観光施設整備特別会計	12	0	12	0	12
	簡易水道特別会計	37,561	31,393	6,168	0	6,168
	公共下水道事業特別会計	1,661,821	1,581,295	80,526	7,650	72,876
	農業集落排水事業 特別会計	817,270	804,985	12,285	0	12,285
	計	6,343,407	5,845,691	497,716	7,650	490,066
合 計		14,546,698	13,725,601	821,097	34,106	786,991

平成17年度ガス事業決算

(単位：円)

収 益	211,755,008
費 用	217,469,425
純 利 益	△ 5,714,417

平成17年度水道事業決算

(単位：円)

収 益	230,426,327
費 用	200,380,312
純 利 益	30,046,015

決算審査意見書から



決算審査の報告をす
る小松代表監査委員

一紀 欽善 松尾 小飯
にかほ市監査委員 にかほ市監査委員

審査の結果及び意見

平成十七年度に審査の対象とされた提出書類は、いずれも平成十七年十月一日から平成十八年三月三十一日までの決算で、歳入・歳出における決算額が通年の下期分が計上されているのみであり、前年度等と比較対照しながら決算の概要を把握し、意見を申し上げることはできませんが、審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

歳入については、市税、使用料等の不納欠損及び収入未済について担当課から資料を提出して戴き、詳細に事情聴

取し今後の徴収努力をお願いしている。

歳出においては、主要事業執行実績報告書に基づき書類を審査したところ、適切に処理されていると認められた。

なお、審査過程で見受けられた事務的に改善を要する事項及び留意を要する事項については、該当部署に指摘または是正の検討を要望している。

市の財政は、地方交付税の大幅な削減、加えて法人市民税の落ち込みなどにより厳しい財政環境下であり、行政運営の適正化、財務の健全性及び内部牽制の充実に一層の努力をお願いしたい。

最後に、にかほ市は「夢あるまち」「豊かなまち」「元気なまち」づくりを基本理念として掲げています。「市民の幸せづくり」のため、その基本理念の早期実現に向けて、一層努力されることをご期待申し上げます。

一般会計一億四、九五〇万円を追加補正 総額一三六億五、四二二万円になる

九月補正予算概要（三〇〇万円以上・金額は千円以下切り捨て）

歳入		歳出	
法人税	△二六、〇〇〇万円	臨時雇用賃金(除雪費)	一、四三九万円
固定資産税	一〇、〇〇〇万円	消耗品費(除雪費)	五一九万円
地方特例交付金	五、九四八万円	燃料費(除雪費)	四五七万円
地方交付税	△二六、五七九万円	修繕料(除雪費)	五九五万円
児童扶養手当給付費負担金(民生費国庫負担金)	△三、三三二万円	道路除雪等委託料(除雪費)	三、一七六万円
地方道路整備臨時交付金(土木費国庫補助金)	一、五四〇万円	重機借上料(除雪費)	二、四三六万円
秋田県議会議員選挙交付金(総務費委託金)	五二一万円	公共下水道事業特別会計繰出金(都市計画総務費)	△八、六〇〇万円
土地売却収入(不動産売却収入)	九〇一万円	高森団地修繕工事(住宅管理費)	四〇〇万円
財政調整基金繰入金	六、七八〇万円	すこやか子育て支援事業補助金(教育助成費)	四〇六万円
繰越金	二一、四四〇万円	特別職給与費	△四〇一万円
雑入	六九〇万円	一般職給与費	一、六八二万円
屋敷田一号線道路改良事業(秋田県市町村振興資金貸付金)	一、一三〇万円	一般職共済費	五四四万円
臨時財政対策債	△六二〇万円		
市民税等減税補てん債	一、八五〇万円		
都市再生整備計画予備調査業務委託料(総務管理費・企画費)	四〇〇万円		
秋田わか杉国体にかほ市実行委員会補助金(国体推進費)	三〇〇万円		
(市議会議員選挙費)	△一、七五八万円		
(県議会議員選挙費)	四七三万円		
生活保護費国庫負担金返還金(生活保			

9月定例会 一般質問

一般質問は、九月七日、八日、十一日に行われ、十四名の議員が当局の所信や見解をただしました。

佐々木 正勝 議員

○「国のまちづくり交付金制度」の活用について

○AED（自動体外式除細動器）の配備について

○ポジティブリスト制度（農業残留基準）への対応と指導等について

* * *

本 藤 敏 夫 議員

○観光振興について

○各種団体に対する補助金の交付と関係団体との連携について

○各種建設事業や物品購入時の入札について

○6月定例会で一般質問した3点についてその後どのような状況にあるか

* * *

竹 内 賢 議員

○総合発展計画策定にかほ市の望まれる図書館像について

○全国自治体トップアンケートにかほ市行財政改革大綱・にかほ市集中改革プランについて

○具体的な行政サービスの市民との共有について

* * *

佐々木 平 嗣 議員

○車のナンバープレートで地域おこしについて

* * *

池 田 好 隆 議員

○道路整備について

○労働者の雇用状況について

○観光振興について

○福祉事務所・教育研究所の業務について

* * *

齋 藤 修 市 議員

○老人福祉について（老人憩いの家）

○観光開発の具体化について

小 川 正 文 議員

○にかほ市行財政改革大綱・にかほ市集中改革プランにかかる経費削減について

○にかほ市行財政改革大綱・にかほ市集中改革プランにかか

る民間委託・公営企業について

○にかほ市行財政改革大綱・にかほ市集中改革プランにかか

る財政計画について

* * *

市 川 雄 次 議員

○特養増床の必要性の有無について

* * *

佐 藤 文 昭 議員

○学校建設事業について

○デジタル放送受信難視聴地域の対策について

○企業誘致について

配される事項は避けるべき

* * *

佐々木 清 勝 議員

○品目横断的経営安定対策の活用による、にかほ市農業の構築について

○担い手育成対策について

○担い手育成対策の取り組みについて

○集落営農のリーダーの育成について

○担い手になれない農家の対策について

○独自の助成対策の創設について

* * *

佐 藤 元 議員

○農地・水・環境保全向上対策について

* * *

村 上 次 郎 議員

○税、国保税、介護保険料の減免制度等の活用、拡充を

○文化施設の建設は慎重に

○「市場化テスト法」による住民のプライバシー侵害が心

9月定例会



佐々木正勝 議員

まちづくり 交付金について

質問 先の七月二十六日には地方交付税が公表されました、にかほ市は当初見込額と決定額の差が八・四％の一億七千二百万円の出額が出ております。その中において市では合併協定事項である合併後三年以内に文化施設の建設、新市まちづくり計画にある象潟中学校、仁賀保中学校の建設等々大型プロジェクトが五年以内に計画されている現状です。

国土交通省では新しい特別な法律を制定し財政支援をする有利なシステムがありますが、この新しい制度への取り組みについて考えを伺います。

市長 この交付金は地域の歴史、文化、自然環境の特性を生かした個性あふれるまちづくりを進め都市の再生を効率的に推進し地域住民の生活の向上と地域社会の経済の活性化を図るための制度でございます。そしてこれまで国の補助支援を受けられなかったような地域の自主的

創造的なまちづくりに対しても一体的に国が支援する制度で、ご指摘のように十六年度に創設されました。この制度の活用は各種事業を進める上で、市の一般財源を減らしながら実施することが可能でございます。

AEDの配備について

質問 運動中または仕事等で心臓に異常が起こった場合、人に電気ショックを与えて心臓の働きを正常にすると聞いております。指導等について伺います。

消防長 コンピューターによって傷病者の心臓のリズムを自動的に解析し除細動が必要かどうかを自動的に決定するとともに、どういふ操作をすべきかを音声メッセージで指示してくれま

観光振興について



本藤 敏夫 議員

質問 にかほ市の観光面で市長は入込観光客を三百万人、宿泊数を三十万人、五年後にはそうしたという目標を掲げておりますが、これを割出した目標とした根拠はどこにあるのか伺います。

市長 にかほ市には鳥海山を初めとする、すぐれた自然あるいは史跡名勝がたくさんあります。まだまだ埋もれているようなものがたくさんあります。このような現状をふまえて、五年後の観光による交流人口を三百万人に目標を掲げて、これを

実現するためにどうするかという事を常日頃考えているわけでございます。

各種団体の補助金について

質問 「市民と一体となって協働のまちづくりを」との考え方を示しており

ますし、各種団体はそれぞれ機能を持ちながら市のため頑張っているわけですから、これまでも支援をしていただきましたが、各種団体を育てていくことをお願いしたいと思っております。市長の考えを伺います。

市長 平成十八年度予算において各種団体に交付されている補助金の種類は、一五七件で金額にして三億四、四七二万七千円でありまして、その内訳として、団体を運営するための補助金が二十六件で一億七、〇八四万五千円でありまして、そしてこの内、協働の町づくりに関係するものについては、一件の一、五〇二万一千円しかございません。十九年度の予算編成に向けて補助金を含めた事務事業について効果的効果的な財政運営につなげていかなければならないと思っております。



▲ 観光イベントのようす

一般質問



賢員 議員
竹内

総合発展計画策定と にかほ市の望まれる 図書館像について

質問 にかほ市として最初の総合発展計画をつくる事業が進められております。将来のにかほ市のあり方がハード面でもソフト面でもはつきり打ち出されません。その中で「図書館機能強化」が政策として総合発展計画に打ち立てられる事が将来のにかほ市にとって重要な事と考えます。住民検討委員会、庁内ワーキングチーム、庁内プロジェクトチームで将来の図書館機能を強化する事について検討されてきたか伺います。次に教育委員会、社会教育委員会、公民館運営審議会等にかほ市としての将来の図書館のあり方について論議されているのか伺います。また、図書館協議会の任務と協議状況について伺います。

市長 広く市民の皆さんに多様な学習機会を提供するためにも図書館機能を充実させていく事は大変重要と考えています。現在市では庁内ワーキングチームとプロジェクトチームを組織して計画の策定作業を進めております。

教育長 公民館運営審議会や社会教育委員会は合併後実質的な審議会はまだ開かれておりませんので、図書館のあり方についての論議はまだ行っておりません。しかし新市の生涯学習や、まちづくり、人づくりを進めていく上で図書館は中核施設の一つであるという認識は各委員に共通理解されています。図書館協議会の任務と協議状況については、図書館の運営に関し館長の諮問に應じるとともに図書館の方針につき館長に対して意見を述べる機関と規定されております。

質問 にかほ市として最初の総合発展計画をつくる事業が進められております。将来のにかほ市のあり方がハード面でもソフト面でもはつきり打ち出されません。その中で「図書館機能強化」が政策として総合発展計画に打ち立てられる事が将来のにかほ市にとって重要な事と考えます。住民検討委員会、庁内ワーキングチーム、庁内プロジェクトチームで将来の図書館機能を強化する事について検討されてきたか伺います。次に教育委員会、社会教育委員会、公民館運営審議会等にかほ市としての将来の図書館のあり方について論議されているのか伺います。また、図書館協議会の任務と協議状況について伺います。



▲ 金浦駅こびあ

車のナンバープレートで地域おこしを



佐々木 平嗣
議員

質問 国土交通省は、観光地域づくり実践プランとして、全国で九地区を選び、東北地区では由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町の三市一町と各観光団体の環鳥海地域を平成十七年十一月十四日に選びました。豊かな自然に囲まれた鳥海山ろく一带を観光資源と位置づけ、地域住民が案内人となるのが特徴となっています。

このことを生かして、この地域の車のナンバープレートを「鳥海山」としてこの地域を宣伝したほうがいいのではないかと思います。

鳥海地域の案内人となれば、国土交通省の趣旨にも沿うと思われるし、観光都市にもつながり、県境を越えての地域おこしになると思われませんがどうでしょうか。

市長 御当地ナンバーの



▲ ねむの丘駐車場

導入は、前提として住民や自動車ユーザーの意向であること、対象地域のすべての公共団体が合意し、議会の支持を得て都道府県に要望し、都道府県が地方運輸局を通じて国土交通省に要望する手続きを踏まなければならないということになります。

これまでの要綱ですと、地域特性の経済圏などまとまりのある地域、車輛登録台数が十万台を超えることの二つの要件があります。由利本荘市にかほ市では八万六千台しかありません。一番難しいのは、複数の運輸支局の所管にまたがるものは認めないとなっています。今の状況では実現できる見込みがありませんので、今後条件の緩和が図られるかよく見極めて今後の課題としていきたいと思っております。

9月定例会



池田 好隆 議員

道路整備について

質問 「にかほ市総合発展計画」のためのまちづくりアンケートによる満足度ランキングでは高速道路や国道整備に不満が強い。高速道路は五〇位。国道県道は四二位である。①日沿道の「象潟・仁賀保道路」の着工見通し、更に「酒田・旧象潟町間」の調査見通し及び完成年次はいつ頃か②旧象潟都市計画

中「潟見町線」及び「象潟南環状線」の整備計画の進展状況はどうか（拠点の連結面から都市幹線道路の整備を早急に：十年位をメド）③市道改良率はどの位で整備改良の優先基準はどのようなになっているか伺います。

市長 日沿道の事業実施状況は象潟IC、仁賀保IC間は十七年一月の都市計画決定を受けて



▶ 高速道路工事現場(仁賀保)

十七年度から事業中區間に格上げされ、必要な道路敷幅の幅ぐい打設と用地測量を実施しています。象潟IC、金浦IC間は路線測量と地質調査の作業に入っており、着工見通しは金浦IC、仁賀保IC間の一部が本年度中に用地買収に入ると聞いています。酒田港と象潟IC間については、酒田ICと遊佐IC間が現在環境影響評価の手続き中です。したがってまだ全區間にわたって基本計画路線にとどまっている状況であり、国は現段階ではやるつもりやらないとも言わないのが現状です。象潟都市計画道路ですが、潟見町線はにかほ市が施工し象潟南環状線は県が施工する事になっております。いずれにしても、相当の期間がかかりますので県に確認し進めてまいります。潟見町線についても、財政事情を見極めながら事業化に向けて検討を進めてまいります。

建設部長 市道改良率は四十七・五%です。

老人福祉について



▲ 午ノ浜温泉

質問 にかほ市の老人憩いの家は十二施設ありますが、利用料をとっているのは午ノ浜温泉、釜ヶ台地区のはんの木、小出地区のけやきの三施設で他は無料ですが、①一律無料に出来ない理由は何か②無料にした場合、市の持ち出し財源はいくらか③十二施設の年間の利用者数は何人位で利用金額はどれ位か④象潟地区には老人憩いの家がない



齋藤 修 議員

が建設計画はあるか以上の四点について伺います。

健康福祉部長 仁賀保地区の老人憩いの家は、小出地区のけやきを除き他は入浴設備がありません。お年寄りに限らず一般住民への利用も許可している施設でお年寄りのみを想定した施設ではありませんでした。金浦と象潟地域の老人憩いの家には現在入浴設備が無く利用者の大多数が地区内のお年寄りで無料になっています。したがって一律無料にすることは現時点では無理です。市の持ち出し財源については施設管理委託料保守管理費、修繕費等合計で一、八二五万円の費用がかかっているが、利用料の約四六五万円を差引くと一、三六〇万円ほどになります。また、利用者数は十七年度の実績で三万〇九九人で利用金額は四六五万九六〇円でした。象潟地区ですが、小滝の奈曾会館、洗釜のぐみの木会館という老人憩いの家があります。更に老人福祉センター、都市農村交流センターそれに入浴施設のある鶴泉荘も老人憩いの家的な役割を担っていることから、現在新たに老人憩いの家を建設する考えはありません。

9月定例会



小川 正文
議員

行政改革大綱について

質問 職員の削減と行政サービスについて伺います。

市長 にかほ市の行政改革大綱は、平成十七年度から二十一年度までの五カ年計画で取り組んでおります。今後五年間で職員を二十五人削減し、五年間累計で五億四千万円の人件費の削減を見込んでいます。行政サービスについては、職員の削減や経費の削減によって低下を来さないように市役所の組織、市の

状況を見極めて行政の効率化を図り、なおかつサービスの向上を目指してゆきたいと考えています。

質問 合併特例債について伺います。

市長 当市においては百三十五億円の特例債が認められています。現在予算措置されているのが基金の積み立てで六年間で十八億円の計画です。今後は総合発展計画に基づいて基本計画、実施計画に示されている事業を実施して行くことになりませんが、やはり財政計画を立てながら将来市民の皆さんの負担が大きくなるないように、有効に合併特例債を活用してゆきたいと考えています。

質問 市内の各施設に備えているパソコンの利用状況について伺います。

市長 市内三十二カ所にパソコンを設置しています。年間利用については、おおむね八十六万五千人がアクセスいたしております。



象潟庁舎設置のパソコン

特養増床の必要性の有無について



▲ 特養施設の様子

質問 市長は、選挙公約において、「特養五〇床の増床」を掲げております。しかしながら、実際の特養待機者の数は、五〇人を大幅に下回っております。

また、向こう数年間のうちに特養を整備することになれば、にかほ市の財政に悪影響を与え、そして何よりも介護保険料の更なる値上げを実施せざるをえなくなります。先の6月定例会で、介護保険料税率が最も税率の高かった旧象潟町に合わせる形で統一されました。国保税も高税率で、今後、介護保険料税率が

更に値上げがなされることに市民が簡単に納得するとは思われません。現段階での特養を増床する必要は極めて薄いといわざるをえません。市長の見解をお聞かせ願います。

市長 確かに、待機者数の伸びは予想よりも少ないが、秋田県の高齢化率は五年後に全国一となります。また、平成二十六年に高齢者人口の増加が見込まれる中で、無対策のままでは要介護高齢者等の増加が予想されます。したがって、介護予防事業などの一層の確立が必要と考えます。また、在宅介護のニーズは今後ますます増加すると思えますが、他方、自宅で介護する家族の事情もあり、入所施設によるサービスを充実させていく必要は重要な施策と考えています。ただ、平成二十年度までの本荘由利広域圏組合の計画において特養の増床は入っていないので、平成二十一年度以降、待機者数をよく精査し、ショートステイ事業所との関係、財政との関係などを考慮しながら、にかほ市地域福祉計画の策定もあわせながら考えていきたいと思っております。



市川 雄次
議員

一般質問



佐藤 文昭 議員

小中一貫教育の 取り組みについて

質問 今日の学校教育に対しては、さまざまな課題が指摘されており、この克服のため多くの試みや研究がなされておりま

す。その中の一つとして現在小中一貫教育の取り組みが注目を集めています。少子化の進行に伴い学校の小規模化が進んでおり、今後の児童生徒の教育効果や新たな教育課題に対応できる学校の教育環境の整備も検討すべき課題です。

にかほ市では、今後築四十年を経過した院内小学校の建て替えが迫られており、釜ヶ台小学校の複式学級、小出小学校では児童数の減少が続いておりま

す。こうした中での学校建設は、統廃合はもちろん、学区再編なども課題となつてきます。

今回、これから仁賀保中学校の改築を機に、同じ敷地内に中学校と小学校を建設して、柔軟で系統性のある教育活動やクラブ活動の連携、教員同士の相互交流を通して少子化の中での学



▲ 授業中のようす

税、国保税、介護保険料の減免制度等の活用、拡充を

質問 日本の貧困率はアメリカに次いで二番目、貯蓄ゼロの世帯が約四世帯に一世帯、「生活が苦しい」と感じている世帯は、五十六・二％で過去最高となっております。

このように、自・公小泉政府による庶民増税などで、市民の生活も収入が減る反面、負担が多

く、嘆きや怒りの声がかつてなく多くなつています。納税通知を見て、「これまでより何倍にもなってきた。間違いでないか」などの疑問や怒りの声がたくさん寄せられました。

税、国保等の相談、申請の内容やその対処はどうでしょうか。

総務部長 市民税について十六件、固定資産税は百十四件の減免申請があり承認しています。国保

税は六件の減免申請があり三件を承認、他の三件は不承認としています。

質問 各種の負担軽減等、活用できる制度の周知徹底をすべきだと考えますがどのようにしているでしょうか。

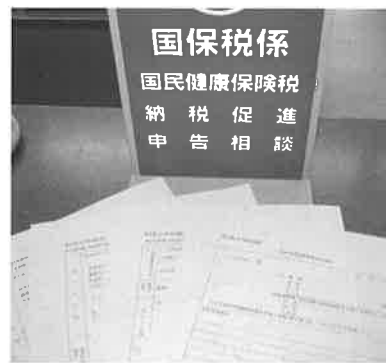
市長 今ある減免制度、軽減制度を市民の皆さんに機会あるごとに広報紙などを活用して積極的にPRしてまいりたいと思います。困ったことがありますから各庁舎にご相談していただきたいと思

います。

質問 各種減免の拡充、介護保険利用料への補助を検討すべきだと思

いますがどうでしょうか。

市長 現段階では、安易に新たな減免制度などは行



▲ 税の減免申請用紙

9月定例会



勝清 佐々木 議員

にかほ市の農業の構築について

質問 にかほ市の農業についてお伺いします。①農業者の減少と高齢化の現状の中、品目横断的経営安定化対策を活用してどのような市の農業を構築するのか、②この対策がスタートする時点で、どのくらいの認定農業者、集落営農組織等を育成し、農地をどのくらい利用集積させるつもりか。米以外の作目振興について、数々数十年後の目標は。③担い手育成、小規模農家対策に対する市独自の助成制度を創設する考えはあるのか。また、担い手として位置づけられなくなる小規模農家をどのように維持していくのか。④集落営農の成功の鍵となるリーダーをどのように育成していくのか。

市長 ①十九年度から認定農業者や集落営農に対してこの対策が導入されます。そのうえで集落営農は企業的感觉でやっつけなければ成功には結びつかないと思います。また、集落営農は多様な人材の集合体ですので、それぞれが役割を果たせるような経営体を構築していくことが大切だと思います。②認定農業者については平成二十二年までに二百六十人、集落営農組織については三年後に全集落の過半数を、農地集積については五年後に農用地の三分の二以上を目標としています。米以外の作目振興については、現在進めている三つの地域水田農業ビジョンにしたがって大豆等を中心に重点品目を選定し生産振興を図って参ります。③新たに就業する方々に対する県の制度に嵩上げた支援をしていきたいと思っています。独自の助成制度は、これまでの支援制度を継続したいと考えています。また、集落営農を推進しながらの小規模農家への支援は難しいと思います。

産業部長 ④リーダーの育成について、国の支援対策制度が次々に出てきていますので、これらの情報を提供しながら進めていきます。

PFIの導入について



元 議員 佐藤

質問 民間の資金と経営のノウハウを公共事業に活用し社会資本を整備していくPFI制度について、今後のにかほ市における大型事業に導入した場合の効果について市長の考えをお伺いします。

市長 施設整備について民間がお金を出して建設し、ある一定期間で行政がお金を返していくこの方式を、例えば市内業者ができるのか、競争方式でできないのか、指定管理者制度的なものではないのか、またどのくらいの規模の事業が馴染むのかなど、他の自治体の取り組み状況を見ながらこれから勉強したいと思っています。

合併による地域の一体感醸成について

質問 新市の一体感醸成には、長い期間が必要と、根気の要る作業と

思います。市長の進めようとする観光のまちづくりをこの一体感醸成とどのように結びつけ、成果につなげていくか、具体的な考えをお伺いします。

市長 市民の一体感醸成について、今年の「夏祭り・三夜物語」などは大きな効果があったと思います。これからも市民が参加できる新たなイベントを立ち上げて、その中で三地域の市民からボランティアとして支えてもらえれば、一体感の醸成に繋がっていくと思っています。また、市を支える子供たちにも、地域のイベントへの参加とか、歴史・文化を勉強させる機会をつくり、にかほ市が我々の郷土だという気運を高めていくことも必要と思っています。



▲ 花火大会のようす

議案審議

教育委員会委員の任命について

任期満了による教育委員会委員の任命について議会の同意を求める議案は、賛成多数により同意しました。

教育委員会委員

佐々木 郁子氏（五十一才） 象潟町字中橋町

議会推薦

農業委員会委員に 齋藤氏・佐々木氏・森氏を選出

任期満了により、議会推薦の農業委員会委員の選出を求められた議会は、齋藤氏・佐々木氏・森氏の三氏を選出しました。任期は平成二十一年九月三十日までとなっています。

齋藤 久江氏（四十八才） 伊勢居地字南野

佐々木 通子氏（五十六才） 大竹字前谷地

森 りえ子氏（五十九才） 大須郷字雨谷地

決議・意見書

次の件について決議し、関係機関に意見書を送りました。

★集配局の廃止再編計画に反対する意見書

★「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」意見書

請願

件名	請願者の住所及び氏名	紹介議員の氏名	付託委員会	結果
農産物価格の保障を軸としすべての農家を対象にした経営安定対策を求める請願書	秋田市中通六丁目7-38 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤長右衛門	村上次郎	産業建設	不採択
市道(546)水岡、横岡線の新設改良及び防雪柵設置に関する請願書	にかほ市横岡字中屋敷16 横岡自治会 会長 佐藤 輝一 外1名	佐々木正明	産業建設	継審 続査

陳情

件名	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	結果
中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める陳情書	東京都足立区谷在家1-18-1 特定非営利法人 日本法輪大法学会 代表 鶴蘭雅章	総務	不採択
「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情について	東京都文京区谷湯島2-2-4 全国労働組合総連合 議長 坂内三夫	総務	採択
「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」陳情書（継続審査のもの）	秋田市山王7丁目1-5 秋田県労農市民会議 議長 石田 寛	産業建設	採択

委員会報告

産業建設常任委員会

本定例会で付託された議案十二件と請願二件、審査一件について主な議案審議の結果を報告致します。

「にかほ市手数料条例の一部を改正する条例制定について」

この条例は県から移譲される都市計画関係事務に伴い徴収する手数料であります。内容は開発許可を要しない優良宅地（安全性、道路、公園、給排水施設の整った宅地）の造成認定を受ければ所得税の軽減がはかられるというものです。

「平成十七年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について」は全員の賛成により可決認定しております。審査の中で地区要望に関する説明があり合併に際して旧町からの地区要望を実現する為相당한予算で維持改良をしています。今年度もかなりの数の地区要望に対して予算要求をしています。一般財源なので緊急性の再調査が求められます。その中で優先順位をつけて配分すると地区要望の約一割程度しか実現できないのが現状です。尚緊急を要するものに



▲ 地区要望の工事現場のようす

ついては、補正等に対応していくとの事でありました。

「平成十八年度にかほ市一般会計補正予算（第五号）」に

ついて、全員の賛成により可決しております。企業誘致リーフレット製作委託料二十一万七千円は、地域の特性技術の高さをアピールし、十月中に完成予定であります。『農産物価格の保障を軸とすすべての農家を対象にした経営安定対策を求める請願書』は不採択、また、『市道（五四六）水岡、横岡線の新設改良及び防雪柵設置に関する請願書』は継続審査となっております。継続審査中の『すずな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める陳情書』は、全員の賛成により採択となっております。

産業建設常任委員長

宮崎 信一

総務常任委員会

当委員会に付託された議案一件と陳情二件について、審査の結果を報告します。

「にかほ市職員定数条例の一部を改正する条例制定について」

この条例は、ガスの熱量変更事業の終了により、公営企業から市長部局への配置替が可能となったことから、実人員を勘案し、三九五人を三九〇人に改正することに可決しました。

陳情のうち『中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める陳情』については、法輪功の実態及び臓器摘出、移植の調査説明は、にかほ市議会では不可能に近く、なじまないものと判断し不採択としました。また、『集配局の廃止再編計画に反対する意見書採択に関する陳情』については願意妥当で採択としました。

次に、一般会計決算特別委員会総務小委員会の十七年度一般会計歳入歳出決算については、財政の厳しさだけでなく、時には事業の必要性と地方債（長期借入金）の仕組みなど市民に分かりやすい財政のPRは必要で

あり、工夫してほしいとの意見がありました。決算については賛成多数で認定しております。

次に一般会計予算特別委員会総務小委員会の「平成十八年度にかほ市一般会計補正予算（第五号）」は、金浦地区の都市再生整備計画調査と進行中の総合発展計画との整合性をはかること及びふるさと会参加（議員として）について意見がありました。賛成多数で可決しました。

総務常任委員長

池田 好隆



▶ 総務常任委員会の視察のようす（象潟中学校建設現場）

委員会報告

教育民生常任委員会

当委員会は市民部、健康福祉部、消防、教育委員会を所管しておりますが、この紙面では合併後の十七年度決算と今年度補正、条例改正、象潟中学校本体工事請負契約の主な点について報告いたします。

決算は福祉や教育関連の扶助費、補助金等が概ね適正に執行されていると確認しましたが、合併時点の予算計上の不具合が決算にも散見され、当委員会で指摘しております。補正では後期高齢者医療制度の創設や児童扶養手当の国の負担減、国保の条例改正等で地方自治体や高齢者の負担増に繋がる件について厳しい意見が集中しました。ただ、ヘルスアップ事業という市民の健康増進に期待できる新事業等も導入されております。

条例改正では消防団員の定数を七百六人から六百五十人と減じて改正するもので、歯止めがかからない団員減少に非常に苦慮しており、次年度は女性団員の入団も図るとのことです。

象潟中工事契約では地元業者の参入機会、入札の透明性の観

◀ 運動教室のようす



点から共同企業体による公募型指名競争入札を採用しましたが、共同企業体の主たる契約者に他県での一連の不祥事で疑いの眼差しが注がれていることが指摘され、委員会では相当の間をかけ議論し、本会議でも危惧する意見も出されましたが、現況の建設工事に直接絡む問題はないと判断し、更に法的、手続き上等を熟慮し賛成多数で可決し審査を終えております。

教育民生常任委員長

菊地 衛

編集後記

新にかほ市が誕生してから一年。新市議会が活動を開始してから六カ月になりました。市議会も平成十八年度の各事業予算に対し、当局との審議を重ねながら活発な活動をおこなっております。新議会が活動を開始した今年はTDK硬式野球部が社会人野球大会で全国制覇を成し遂げ、黒獅子旗を初めて東北の地、にかほ市に持つて来るものが出来、市全体が大きな喜びに湧いたのもつい先日のことです。又日本の政治は小泉政権を継承すると言われる安倍内閣が誕生し、新内閣による行政がスタートすると言う大きな変革の中で北朝鮮の核実験の暴挙という深刻な事態に世界中が騒然としている現状です。

さて九月定例議会の一般質問および委員会報告を市議会だよりに掲載せ、市民の皆様にご覧いただきたく時期になりました。一般質問は十四名の議員が質問に立ちおおいに議論されました。議員の質問と当局の答弁について全てを記載出来れば良いので

すが、限られた紙面とスペースの関係から要旨について記載しております。詳細については市のホームページをご覧ください。尚議員活動については各委員会をはじめ地方公共団体が催す各種イベントへの参加もあり、忙しい毎日を過しております。今後は議会活動だけでなく、全体的な活動計画および実績についての概要も市議会だよりに掲載なるべく検討中であり、市民の皆様のご意見、御要望をお待ち申し上げます。

議会広報編集副委員長

齋藤 修市

祝にかほ市市民栄誉賞贈呈式



▲ TDK野球部への市民栄誉賞贈呈式のようす